

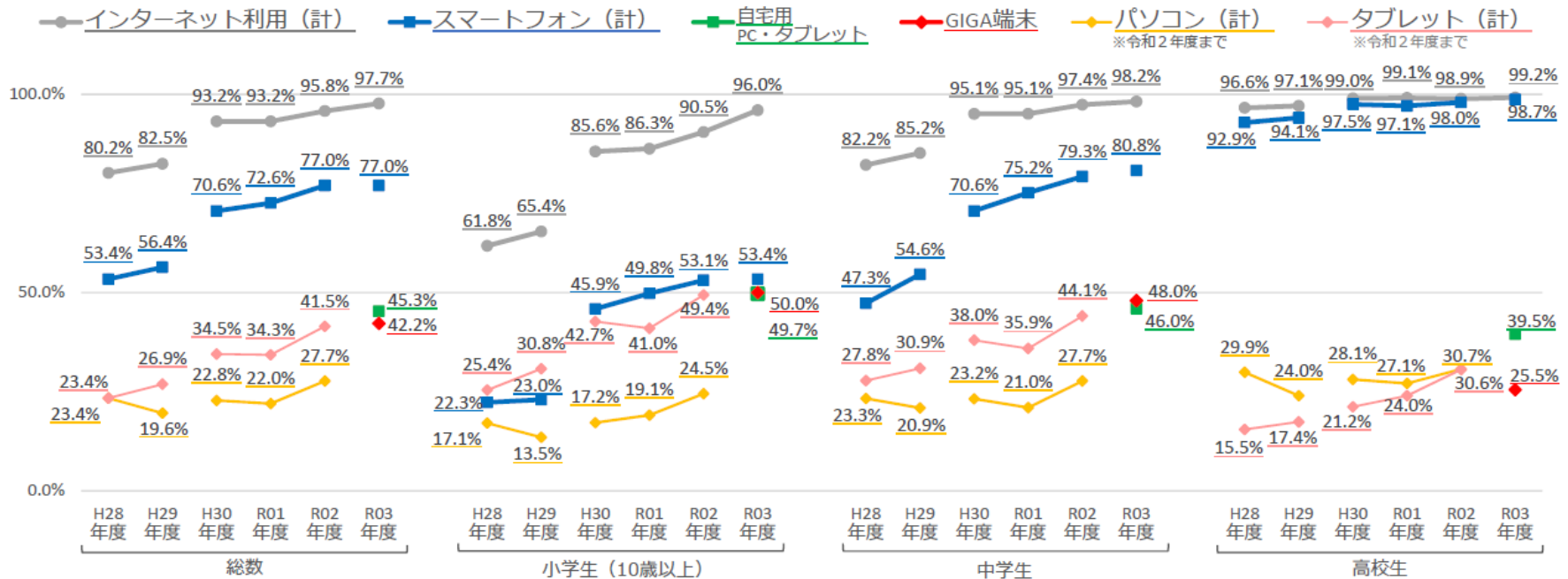
インターネット等の利用状況

環境生活部くらし安全局道民生活課

1 インターネット等の利用状況

- ◆ 青少年のインターネットは年々増加傾向にある。
- ◆ 令和3年度調査では、「スマートフォン」を利用している青少年は、高校生で98.7%、中学生で80.8%、小学生(10歳以上)で53.4%となっている。

青少年の機器ごとのインターネット利用状況（平成28年度から令和3年度）



(注1) 回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。(下記の小学生は、10歳以上)

令和3年度: 総数(n=3395)	小学生(n=1101)	中学生(n=1318)	高校生(n= 967)	令和2年度: 総数(n=3605)	小学生(n=1100)	中学生(n=1407)	高校生(n=1083)
令和元年度: 総数(n=3194)	小学生(n=1081)	中学生(n=1241)	高校生(n= 868)	平成30年度: 総数(n=3079)	小学生(n= 990)	中学生(n=1175)	高校生(n= 903)
平成29年度: 総数(n=3288)	小学生(n=1016)	中学生(n=1309)	高校生(n= 942)	平成28年度: 総数(n=3284)	小学生(n=1012)	中学生(n=1279)	高校生(n= 987)

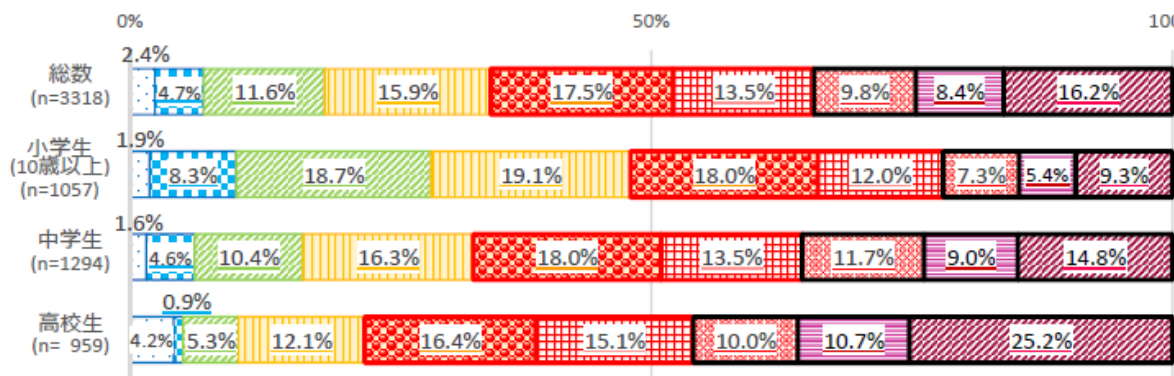
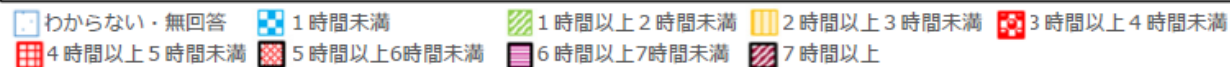
(注2) 「スマートフォン (計)」は、「スマートフォン」、「契約していないスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。平成28年度から令和2年度までは、「スマートフォン (計)」は、「スマートフォン」、「格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「契約切れスマートフォン (平成28年度から平成29年度までは、携帯電話の契約が切れたスマートフォン)」のいずれかを利用すると回答した青少年。「パソコン (計)」は、「ノートパソコン」、「デスクトップパソコン」のいずれかを利用すると回答した青少年。「タブレット (計)」は、「タブレット」、「学習用タブレット」、「子供向け娯楽用タブレット」のいずれかを利用すると回答した青少年。複数の機器を使用している場合もあるため (計) は、合計値が100%とならない。

(注3) インターネット利用率についての質問形式は、平成28年度から平成29年度までは「青少年に調査した15機器のうち、いずれかの機器でのインターネット利用の有無」を問う設問であり、平成30年度以降の「インターネット利用の有無」を問う設問と相違があるため、平成29年度までの調査結果とは直接比較できない。

2 インターネット等の利用時間

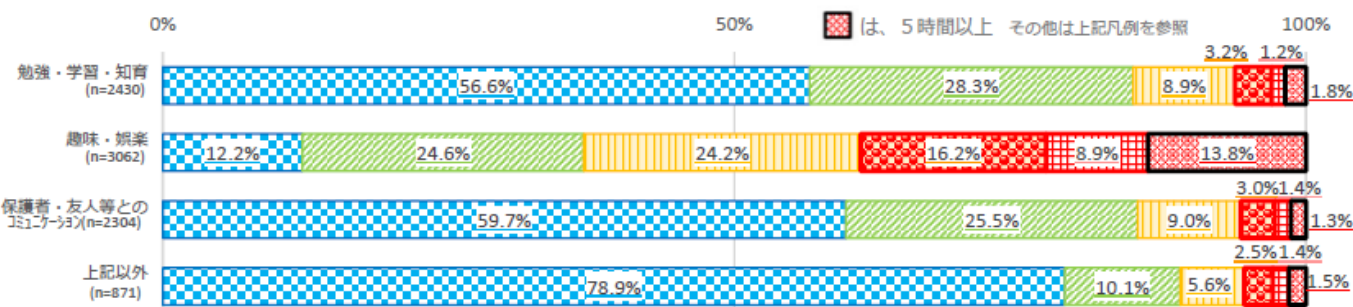
- インターネットを利用すると回答した青少年の平均利用時間は、前年度と比べ約1時間増加し、約4時間24分。どの学校種も前年度と比べ約1時間増加し、高校生は、約5時間31分。中学生は、約4時間19分。小学生（10歳以上）は、約3時間27分。
- 目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、前年度と比べ38分増加し、約2時間45分。
- 勉強・学習・知育は前年度と比べ約23分増加し、約1時間1分。

青少年のインターネットの利用時間（利用機器の合計／平日1日あたり）



	令和3年度			令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	平均利用時間	3時間以上の割合	5時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合
総数	263.5分	65.3%	34.3%	205.4分	52.1%	182.3分	46.6%	168.5分	40.2%
小学生 (10歳以上)	207.0分	51.9%	21.9%	146.4分	33.6%	129.1分	29.3%	118.2分	21.0%
中学生	259.4分	67.1%	35.5%	199.7分	52.0%	176.1分	45.8%	163.9分	37.1%
高校生	330.7分	77.5%	46.0%	267.4分	69.5%	247.8分	66.3%	217.2分	61.7%

目的ごとの青少年のインターネットの利用時間（利用機器の合計／平日1日あたり）

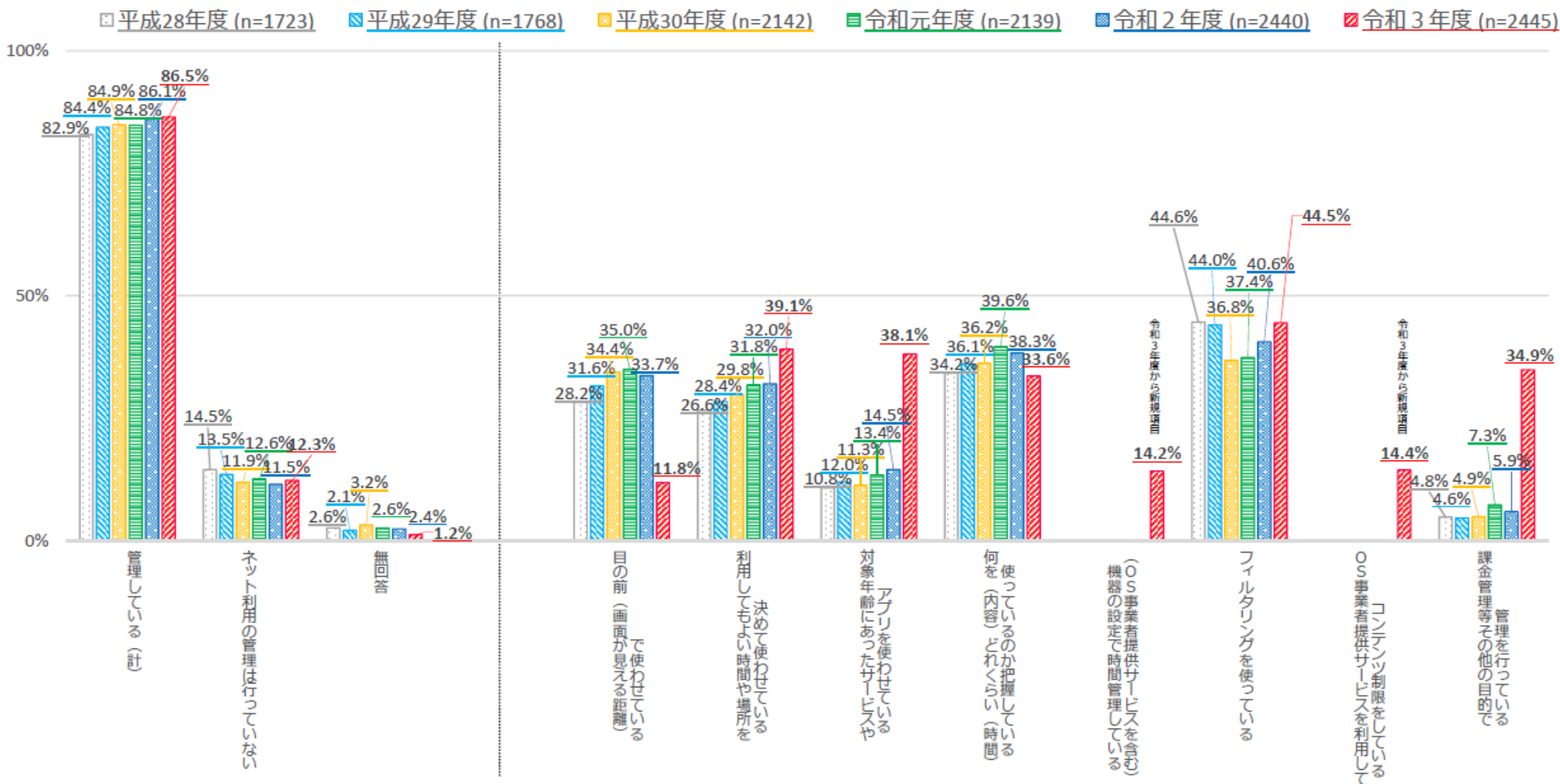


	平均利用時間			
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
勉強・学習・知育	60.8分	37.5分	33.3分	35.7分
趣味・娯楽	164.7分	126.7分	119.5分	105.6分
保護者・友人等とのコミュニケーション	55.7分	44.7分	43.9分	52.4分
上記以外	33.7分	18.1分	16.5分	22.4分

(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」「無回答」を除いて平均値を算出。
 (注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器の利用時間を合算したものの。
 (注3) 平均利用時間・3時間以上と5時間以上の割合については、青少年に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。
 回答数は、令和2年度 総数(n=3452) 小学生(n=995) 中学生(n=1371) 高校生(n=1071)、令和元年度 総数(n=2977) 小学生(n=933) 中学生(n=1180) 高校生(n=860)、平成30年度 総数(n=2870) 小学生(n=847) 中学生(n=1118) 高校生(n=894)。

3 保護者の取組

スマートフォンにおける青少年の保護者のインターネット利用に関する取組の経年比較（平成28年度から令和3年度）



(注1) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年の保護者をベースに集計。

(注2) 令和3年度から「機器の設定で時間管理している」と「OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限をしている」を新規追加。令和2年度までは、「目の前（画面が見える距離）で使わせている」は「大人の目の届く範囲で使わせている」、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」は「利用する際に時間や場所を指定している」（平成29年度までは「利用時間等のルールを決めている」）、「対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている」は「成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている」、「何を（内容）どれくらい（時間）使っているのか把握している」は「普段の会話やコミュニケーションの中で、子供のインターネット利用状況を把握している」、「課金管理等その他の目的で管理を行っている」は「その他の方法で管理を行っている」としていた。

(注3) 「無回答」は、令和2年度までは「わからない・無回答」としていた。